

乳児期の顔・頭部症状に漢方入浴を行った小児アトピーの経過 (1歳3か月男児)

症例 ID：001-01-IAt | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

先天性疾患により乳児期から入院と手術を重ね、人工肛門の装具周囲に皮膚炎が生じました。それ以前から頭部や眉周辺にも湿疹がありました。

近医でステロイド外用薬を処方され、数回使用しましたが、症状は良くなっては再び悪くなることを繰り返しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	乳児期に顔や頭部の症状へステロイド外用薬を数回使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	松本医院受診前の短期間です。
中止時期	効果が一時的だったため、受診前に使用を控えました。
来院前／後	来院前に少量の使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期	来院前	装具周囲の皮膚炎に加え、頭部や眉周辺に湿疹が出ました。
近医受診後	来院前	ステロイドを数回使用し、一時的に落ち着いては再発しました。
松本医院受診時	治療開始	漢方薬と煎じ薬を用いた入浴による治療を始めました。
治療経過中	回復傾向	強いリバウンドはみられず、症状が出ても漢方の外用薬で対応できる程度になりました。
1歳3か月時点	治療継続中	時々症状が出るため、治療を続けています。

4. ピーク時期

ピークは、顔全体が荒れ、頭部に多くの落屑がみられた受診前の時期です。

5. 困りごと

- 先天性疾患の手術や装具管理と並行して、皮膚症状の処置が必要でした。
- 乳児への煎じ薬入浴を継続する負担がありました。

6. 経過のまとめ

ステロイドの使用歴が少なかったため、強いリバウンドはみられませんでした。

1歳3か月時点では、時々症状が出ても漢方の外用薬で対応できる程度となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。